

## 薬剤耐性菌検出と感染拡大防止策について

当院において、入院患者2名からカルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)が検出されました。

現在患者の状態は安定しておりますが、福島市保健所や福島県立医科大学附属病院 感染制御部の指導および提言を受けて、院内感染予防策を徹底して行うとともに、伝播防止の観点から入院患者のスクリーニングを実施しています。また、感染経路については郡山市中病院との関係が疑われることから、今後当院に入院する患者に対してもスクリーニングを行うことになりました。

今後も関係機関と協議しながら、感染症対策を強化してまいります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

平成 30 年 9 月 13 日

(一財)大原記念財団 大原総合病院

院長 佐藤勝彦

問い合わせ先：事務長 丹治 茂

\*\*\*\*\* カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE) について \*\*\*\*\*

CRE は抗菌薬に耐性ですが、通常の大腸菌などと同じで便の中に保菌されている状態では、病気の原因にはなりません。しかし膀胱や腎臓、胆のうなどでは病気を起こすことがあります。

CRE が原因となって感染症を発症した場合は、有効な抗菌薬に限られるので治療が難しくなる可能性があります。ただし、日本で分離される CRE の多くは海外の CRE と比べ、有効な薬剤が多いことがわかっています。

\*\*\*\*\*